

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

Table with 2 columns: 学校名 (小城市立桜岡小学校) and 1 前年度 評価結果の概要 (前年度の新たな取組である「いのちの授業」の実践をはじめ、人権教育、特別支援教育、教育相談など、豊かな心を育む取組や一人ひとりの困り感に寄り添う支援を強化・充実させたことにより児童の自己有用感等は徐々に高まりつつある。また、1人1台端末を活用した授業づくりや生徒指導面の課題についても学年間で情報共有し、チーム対応、共通実践が進み、成果が見られた。全体指標の項目1「自分には、よいところがあると思う」は78.0%、項目2「先生はあなたのよいところをほめてくれる」は80.4%であった。取組の成果は少しずつではあるが、着実に現れている。項目1は到達目標80%に届いていないため、引き続き実践を積み重ねていく。

2 学校教育目標
自らを友達を大切に思い、未来に向けて花開こうとする桜っ子の育成
- 日々の積み重ねを大切に作る学校づくり -

3 本年度の重点目標
「命・心はひとつ」「ひとつずつの積み重ね」を合い言葉に、一人一人の教職員が、学校教育目標の実現に向けての意識を高く持ち、子供の「自己有用感」を高める取組を推進する。～実践蓄積の深化→前年度を継承しつつ、より洗練・深化・徹底する。～
◆全体指標「自分には、よいところがあると思う」80%以上、先生はあなたのよいところをほめてくれる85%以上
① 教職員の協働意識・体制の向上……○学校目標と一貫性のある学年目標の設定 ○学年の企画・運動性、校内の報告・連絡・相談の充実 ○年間指導事項の共通理解の徹底
② 自己実現を図るための「分かる授業」、「生徒指導の三機能」の実践……○「背・目・手」「か・つ・お」「目で聴く」など、学習規律の徹底 ○学力向上に結びつくICT利活用の蓄積 ○決めさせ、考えさせ、認め合う授業の実践 ○「出番」「役割」があり、「承認」される授業・活動の創造

Main evaluation table with columns: 重点取組内容・成果指標, 最終評価, 学校関係者評価, 主な担当者. It contains detailed data for various categories like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', '業務改善・教職員の働き方改革の推進', and '特別支援教育の充実'.

5 総合評価・次年度への展望
全体指標の項目1「自分にはよいところがあると思う」は79.3%、項目2「先生はあなたのよいところをほめてくれる」は80.9%であった。目標達成には至らなかったものの、昨年度より伸びを見せた。また、重点目標①②③については、特に重点②「桜岡スタイル」での授業実践、重点③道徳科や人権教育の充実、悩みを抱える子への組織的対応についての教職員の評価が大きく伸びており、個々の職員が重点目標を意識した共通実践ができたことと評価している。保護者評価においても、重点②志を高める教育、重点③道徳教育、教育相談についての伸びは顕著である。今後は「自己有用感」を高める取組をより深化、徹底を図ること、重点①効果的な業務遂行のため、より一層の業務改善が課題である。